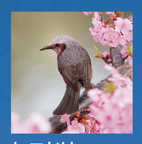
大同特殊鋼知多工場の環境技術

グリーンで、クリーンな、特殊鋼工場を目指して。

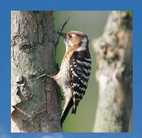
Green
Clean
Steel

知多工場で見られる野鳥たち

カワラヒワ

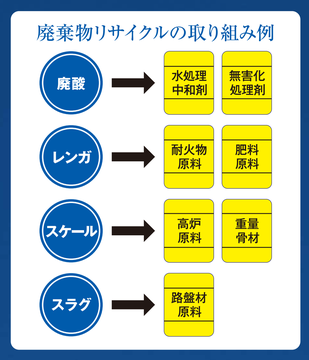

ヒヨドリ

カワセミ


コゲラ

シジュウカラ

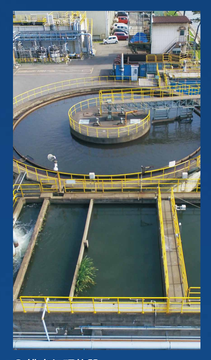
資源と共に— 廃棄物の再資源化



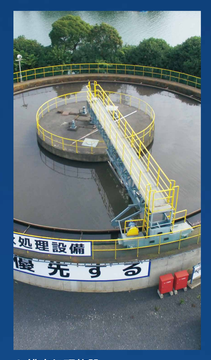
廃棄物を多彩な資源に。

知多工場は、スクラップを再生して特殊鋼を製造する事業形態そのものがサステナブルなリサイクル工場です。
そのうえ、工場廃棄物の再利用にも注力し、さらなるエコファクトリー化を推進しています。

水と共に— 排水浄化活動


C 排水処理施設

E 排水処理施設


A 排水処理施設

“サステナブル”な利用を目指して。

知多工場では、3つの総合排水処理施設で1日あたり40,000㎥の水を処理しています。
また、水をひとつの貴重な資源と捉え、水の再利用に注力。現在の循環率は90%を越えています。

空と共に— 粉塵・ばいじん対策

当社オリジナル 集じん対策の新方式

スカイハウス式集じんは、当社が1987年（昭和62年）に開発した新しい集じん方式。電気炉を固定または可動フードで囲んで集じんする方式であり、知多工場の全ての電気炉に導入済みです。

発生源近くで吸引できるから…
↓
高い捕集効果
＋
防音効果あり

よりクリーンな工場排気を目指して。

知多工場では、電気炉から発生するばいじんを集じん装置で集め、周囲への飛散を最低限に抑えています。
また、道路散水や道路整備により、粉じんの巻きあがりや飛散防止にも努めています。

緑と共に— 工場緑化

野鳥や水生昆虫などの拠点となる水辺を創出することで、地域生態系の保全に貢献しています。

緑地データ 緑地面積：18万㎡（工場敷地面積の16%）
植樹時期：1960年代～ / 樹種構成：約170種 約60,000本

“森の中の工場”を目指して。

知多工場では、地域の住環境や景観に配慮し、工場周辺を緑で包む「シーサイドグリーンベルト計画」を推進してきました。
緑地整備から、およそ半世紀。か細かった木々は大きく成長し、豊かな緑量の森へと変化を遂げています。